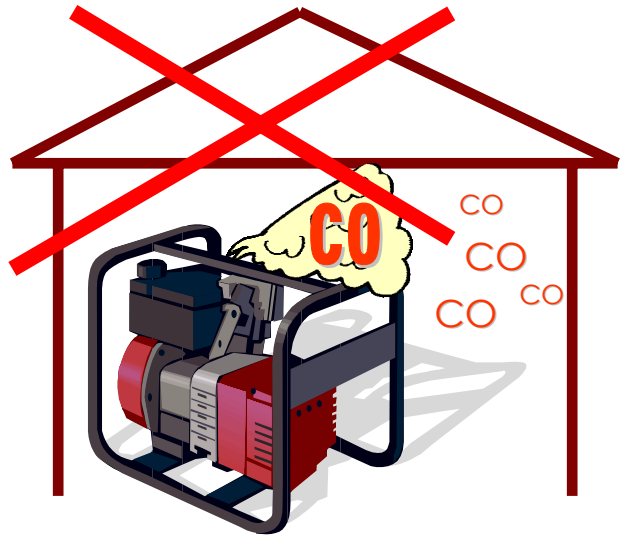
『エンジン駆動発電機』の使用にご注意ください！

こんな事故が起こっています

建家内の照明と電動工具に電気を供給するためにガソリンエンジンで駆動される発電機をドアを締め切って朝から晩まで使用した後、電源を切ろうと当該機器に近づいたところ、卒倒した。



これが原因

ガソリンエンジンで駆動される発電機は、換気の良いところで使用するべきところ、排気ガスが滞留しやすい密閉された屋内で使用したことによって一酸化炭素中毒に至った。

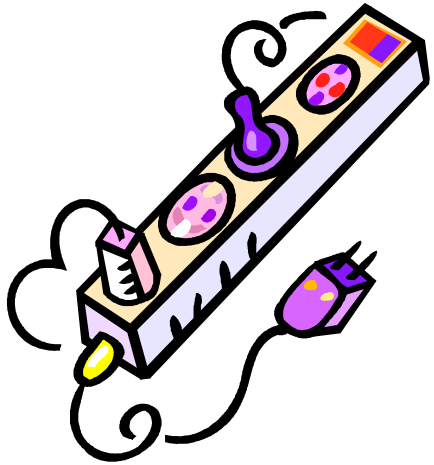
ここに注意

ガソリンエンジンの排気には一酸化炭素など有害成分が含まれていますから室内及び換気の悪い場所では発電機を使用してはいけません。

マルチタップの電力容量オーバーご注意ください！

こんな事故が起こっています

定格容量１５００Ｗのマルチタップに７００Ｗのホットカーペットと１０００Ｗの電気ポットを同時に使用していたところマルチタップのコード部から出火した。



これが原因

マルチタップに過度の電流が通電し、発生した熱により配線被覆が溶融し、マルチタップの配線内で短絡し、出火に至った。

ここに注意

マルチタップに接続されるそれぞれの電気製品の消費電力に関する表示を確認し、合計する消費電力がマルチタップの定格容量を超えないことを確認した上で接続しましょう。

全自動洗濯機への洗濯物の詰込みにご注意ください！

こんな事故が起こっています

全自動洗濯機に毛布などの沢山の洗濯物を洗濯槽一杯に入れて洗濯していたところ、洗濯槽の中で洗濯物が焦げ発煙した。

これが原因

洗濯物を沢山入れすぎて、洗濯物が洗濯槽からはみ出した状態で洗濯槽が回転したために、洗濯物と洗濯機のフタ内側とが擦れて摩擦熱が生じ、洗濯物が焦げた。

ここに注意

- **取扱説明書等に記載されている洗濯物の規程重量を超過した沢山の洗濯物を洗濯槽に投入してはいけません。**
- **洗濯物を洗濯槽内にきちんと押し込んで、洗濯槽からはみ出ていないことを確認してからフタを閉め洗濯スタートスイッチを押しましょう。**

電気洗濯機での指の巻き込みご注意ください！

こんな事故が起こっています

洗濯が終了したと思い、上ぶたを開けると脱水槽がゆっくり回っていたが、洗濯物を取ろうと手を入れたところ、洗濯物が絡まり、指を切断した。

これが原因

・当該洗濯機は、脱水槽が回転している間は上ぶたが開けられないロックがかかる仕組みになっていたが、ロック機構が破損し、運転中いつでも上ぶたを開けて手が入れられる状態であった。使用者がロック機構が効かない状態で使用を続け、脱水槽の回転が完全に止まる前に洗濯物に手を触れたため洗濯物が手に絡まった。

ここに注意

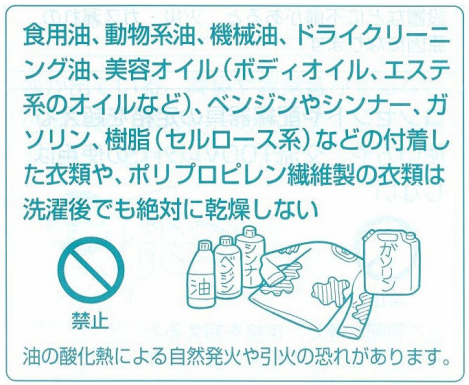
・回転している脱水槽には、たとえ緩い回転であっても手を入れてはいけません。

・上ぶたのロック機構が故障していたり、脱水槽のブレーキの効きが悪くなっている場合は、直ちに使用を中止し、業者に修理を依頼してください。

『衣類乾燥機』の使用にご注意ください！

こんな事故が起こっています

オイルの染みこんだタオルが乾燥中に発火。



これが原因

乾燥した時の余熱によりオイルが酸化発熱し自然発火。

ここに注意

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル（ボディオイル、エステ系オイルなど）、ベンジン、シンナー、ガソリン、樹脂（セルロース系）などの付着した衣類や、ポリプロピレン繊維性の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機に入れて乾燥しない。

長期使用による『扇風機の火災』にご注意ください！

こんな事故が起こっています

・扇風機から出火した火災が発生し、就寝中であった家人2名が煙を吸うなどして死亡した。

・煙とバチバチという音に気が付くと、扇風機が燃えていた。

これが原因

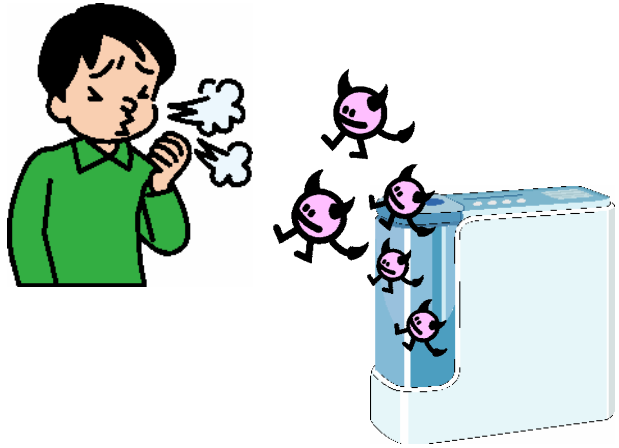
長期間の使用により部品（コンデンサ、モーター巻線、軸受　など）が劣化してしまい扇風機の過熱・発火に至った。

ここに注意

以下の事象がある場合は、直ちに使用を中止し、買い換えや専門家の点検を受けてください。

×モーターがうなるような異常な音がする。 ×焦げ臭い臭いがする。 ×モーターが異常に熱い。 ×スイッチを入れても羽根が回転しない。 ×回転がぶれる。

『加湿器』の水タンクのお手入れにご注意ください！



こんな事故が起こっています

超音波式加湿器の水タンクの中を購入後一度も清掃せずに使用を続けていたところ、レジオネラ肺炎に感染して死亡した。

これが原因

超音波式など、水を加熱せずに霧を発生されるタイプの加湿器は、水タンク内にレジオネラ菌が増殖しやすいため、菌を含んだ霧を吸引するとレジオネラ肺炎などに感染することがあります。

ここに注意

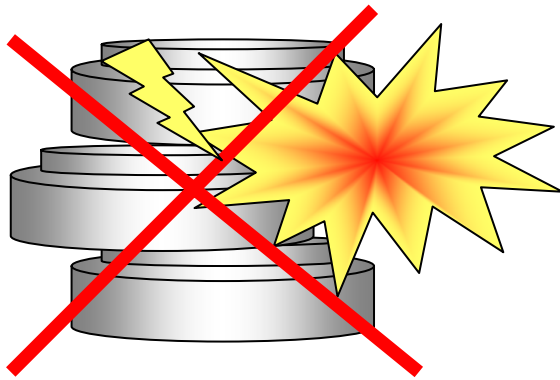
・使用期間中はタンクの内部を常に清潔にし、水は毎日取り替えましょう。

・長期間使用しない場合は、タンク内の水を抜いて乾燥させておきましょう。

『ボタン電池』の保管・廃棄の際ご注意ください！

こんな事故が起こっています

使用済みの複数個のボタン電池を樹脂製のかごの中に一緒に入れて、台の上に置いていたところ、その付近から炎が出た。



これが原因

ボタン形電池は重なり合うと、極と極との間がショートして発熱・破裂を引き起こす危険があります。

ここに注意

①包装から取り出した後のボタン型電池を保存する際には、ショートを防止するため、それぞれの電池の全ての電極にセロハンテープやビニールフィルムなどを巻きつける等して、絶縁しましょう。

②硬貨やクリップなど電気を通す金属類に接触させたり、水に濡らしてはいけません。

③使用済みボタン電池を廃棄する際は、上記と同様の絶縁を施した上で所定の方法（店頭回収ボックスに廃棄する等）により廃棄しましょう。

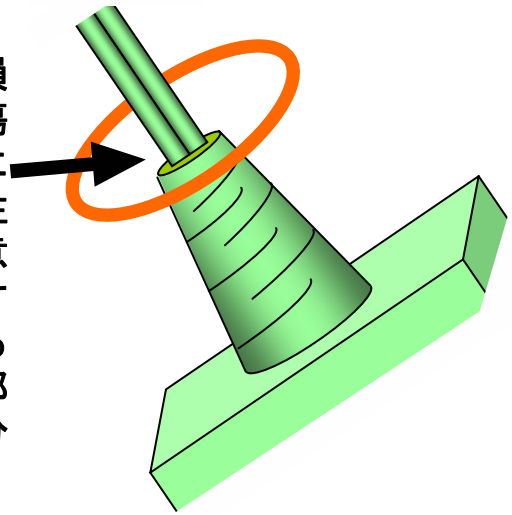
電源コード付け根部分の損傷によるショート

様々な電気製品において、電源コード付け根部分の損傷によるショートが原因とみられる発火事故が発生しています。

事例その１：ヘヤードライヤーの本体出口部の電源コードが焦げて電源が入らない。
事例その２：電気あんかを足下に置いて就眠したが、足に熱を感じて取りだしてみると火花が出ており、コードの根本が焦げていた。
事例その３：寝る前の布団を予め暖めるために電気毛布のスイッチを入れておいたところ、しばらくして炎が上がった。コントローラー付け根のコードが断線していた。

ここに注意！

- ✓ 電源コードの付け根部分は、屈曲や荷重が加わりやすい部分です。その対策として、プロテクタが設けられていますが、繰り返しの屈曲や荷重により断線が発生することがあります。
- ✓ 付け根の損傷に注意を払い、コードの外観に異常がないか使用の度毎に目視確認しましょう。異常があった場合には、当該機器の使用は止め、専門家に修理を依頼しましょう。



「風呂用投げ込みヒーター」電源コードのショート

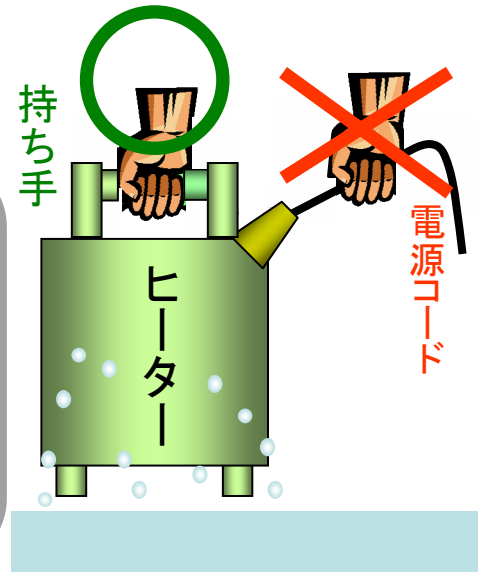
浴槽内のお湯の保温に用いられる「風呂用投げ込みヒーター」において、ヒーターの電源コードのショートが原因と見られる発火事故が発生しています。

事故の例

脱衣所床面上にスイッチの入った投げ込みヒーターを置いていたところ発火。原因を調べたところ、使用者が電源コードを持った状態で繰り返し浴槽内から出し入れしていたため電源コードを損傷し、ショートを発生したために発火したものとみられる。

ここに注意！

- ✓ 電源コードを引っ張ってヒーターを水中から引き上げると断線発生の危険があります。ヒーターを引き上げる際は、電源コードを引っ張るのではなく、ヒーター上部にある持ち手又はストラップに手を掛けて引き上げるようにしましょう。
- ✓ 電源を投入するのはヒーターが水につかっている間だけにし、ヒーターを水中から引き上げる際には電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きましょう。



観賞魚水槽用まわりの製品その①： 水槽用ヒーターの過熱

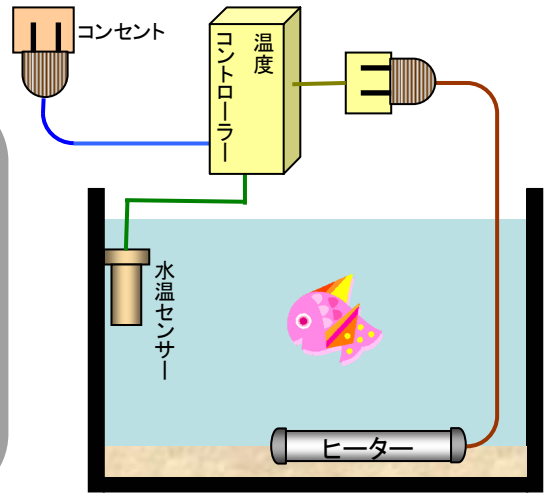
温度コントローラーと必ず組合せて使用するべき水槽用ヒーターについて、ヒーター単独で使用したことによる過熱・焼損事故が発生しています。

事故の例

温度コントローラーと組み合わせて使用するべき水槽用ヒーターであるにもかかわらず、温度コントローラーを介さず直接に水槽用ヒーターに通電させたため、ヒーターが水から何らかの理由で気中に露出した際に空だき状態となり水槽が焼損した。

ここに注意！

- ✓温度コントローラーと組み合わせて使用することが説明書で指定されている水槽用ヒーターについては、説明書に従い正しく配線し温度コントローラーと組み合わせた状態で通電させましょう。
- ✓ヒーターが空だきとならないよう、水に十分浸っていることを確認しましょう。



観賞魚水槽用まわりの製品その②： 飛沫によるトラッキング現象発生

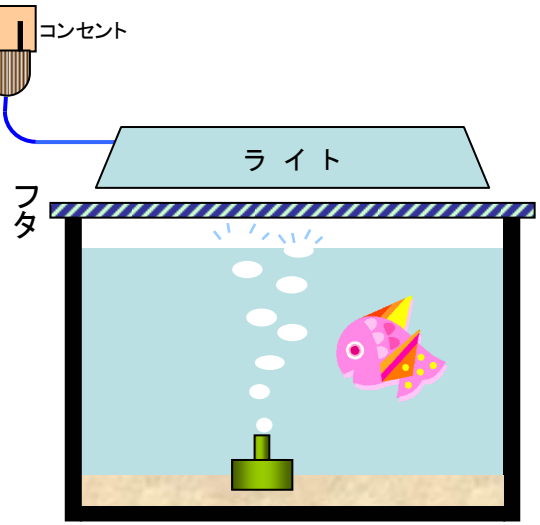
水槽近くにあるコンセントに観賞魚水槽からの飛沫がかかったことにより、コンセントから発火する事故が発生しています。

事故の例

リビングルーム壁際に置いた観賞魚用水槽上部から発火した。水槽上部にガラスフタが無く、飼育水の飛沫がライトにかかり、水槽ライトに付属の使用中のサービスコンセントに水が溜まったことにより、コンセントでトラッキング現象を起こして発火したものとみられる。

ここに注意！

- ✓水槽ライトや水槽近くの電源コンセントに飼育水の飛沫がかからないよう、水槽の近くに電気機器が置いてある水槽にあっては、フタを取り付けるなどして飛沫が飛び散るのを防ぎましょう。
- ✓製品の電源コンセントは飛沫がかからず、ちり、ほこりがたまらない場所に設置しましょう。



『電動トレッドミル』の使用にご注意ください！

こんな事故が起こっています

トレッドミルを使用中に、子供が駆動中の走行ベルト後方に腰を掛けた際、体勢をくずし、ベルトと後部フレームの間に片腕の指先から肘まで巻き込まれ、腕の皮膚に重度の擦過傷を負った。

これが原因

使用者が後方から近づいてきた子供の存在に気が付かずに当該機器の使用を続けていたところ、子供が駆動中のベルトに触れてしまった。

ここに注意

子供の手足がベルト駆動部の隙間に入って思わぬ巻き込み事故が発生する恐れがありますから、使用中に子供が近づかないよう、使用者は周囲の状況に注意を払ってください。